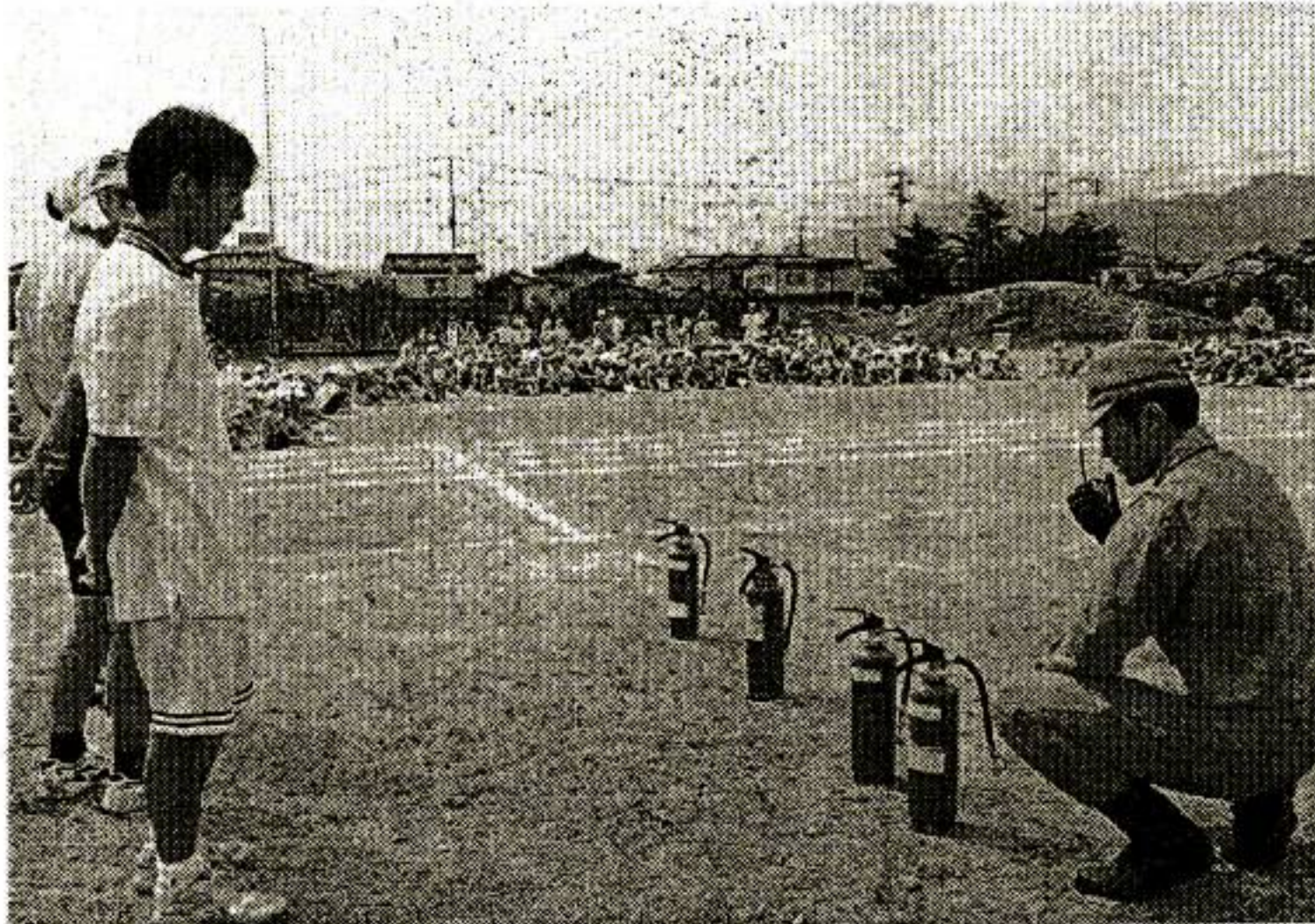


# 避難指示 無線機が威力



## 校内放送に連動、素早く連絡

# 訓練で効果実証

### 鶴岡・朝陽一小

無線機を利用して指示すると、放送用のアンテナが作動し全校に連絡できる「緊急通信放送システム」を使った避難訓練が三日、鶴岡市の朝陽一小（竹屋哲弘校長、児童七百四十五人）で行われた。震度3を越す地震が発生し、行方不明の児童が一人出たという想定で訓練。不明児童の捜索で各教諭が無線で連絡を取り合うなど早速、「威力」を発揮した。

同校では緊急時、各学年主任の教諭が中心となり無線機を携帯。三浦洋介教頭（四）が連絡を取りまとめ、教務主任の佐藤俊明教諭（四）が避難の指示を行った。

この日午前九時四十分五分に「地震が発生しました」との放送が流れ、いったん机の下に避難した全校児童が、約四分でグラウンドに移動した。

また、校内に取り残さ

無線機による「緊急通信放送システム」をテストした朝陽一小の避難訓練

れた不明児童を捜すため各教諭が連絡を取り合う場面や、市消防事務組合職員による消火器使用法の講話などで無線機器をテスト。校内どこからでも連絡でき、効率的な行動を促せるなど多くの効果が実証された。

佐藤教諭は「通常の全校放送と比較してノイズが少々感じられたが、児童を安全かつ迅速に誘導させられた点では十分満足。このシステム」と、感想を話していた。

同校のシステムは、無線機十一台と中継機二台、制御機一台で構成。開発した市内の無線機器メーカーが七月末に設置し、既にプール授業やPTAによる学校清掃ボランティア作業などでも活用されている。

### 山形ケンウッドが 学校用緊急通信機

#### 特定小電力無線機

山形ケンウッド（山形県鶴岡市、東紀行社長）は、免許不要の特定小電力無線機を利用した学校用緊急通信システムを開発、今月から販売を始めた。

このシステムは放送設備コントロール、特定小電力無線機、特定小電力レピーターからなっており、大がかりな工事や設備投資が不要で導入が容易というのが特徴。校内にいる全員に対して同時に情報を伝えられるため避難誘導などの際に素早く対応可能。

# 「学校緊急通信放送システム」を採用

## 携帯無線で全校放送 教育活動への応用も

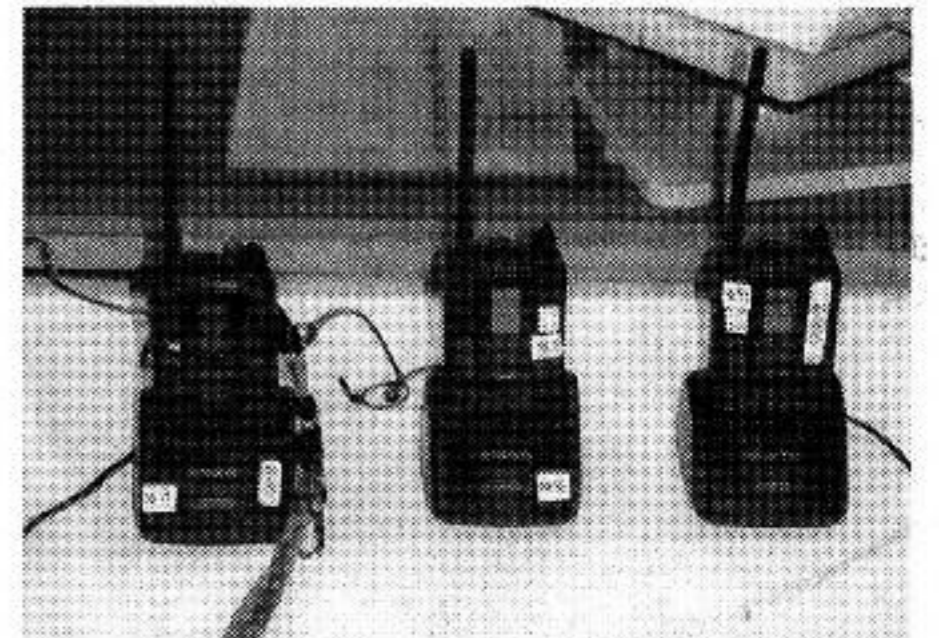
鶴岡市立  
朝陽第一小学校  
山形



竹屋 哲弘 校長

送システム」(山形ケンウツド)を二昨年七月に導入。教育活動にも活用し大きな成果を上げている。文部科学省がさきごろ発行した「学校安全管理に関する取組事例集」にも紹介された同校の実情をレポートする。

導入のきっかけはやはり、大阪教育大学附属池田小学校で発生した、児童殺傷事件だった。「あのような悲劇をどう防いだらよいか」。教員全員が神経質になっていたところ、鶴岡市教育委員会から「緊急通信放送システムがあるが」と連絡があったので、両手を上げて名乗り出て導入を決めました。学校教育の「土台」は何よりも『安全』ですから……(竹屋校長)



この無線機で全校に放送が可能

で、避難誘導が素早く行うことができず、移動しながら、また状況の変化に対応しながら、情報伝達が可能——という機動力も持っています」と竹屋校長。庄司和利教頭も「何よりも既存の放送設備をそのまま利用でき、新たな設備を必要とし

際には保護者や地域の人たちにも披露したい。学校安全に対して、『学校はこんな有効な取り組みをしてみます』と示すことで安心感を持ってもらうのが狙いで「これは全校児童が分担して清掃するものですが、校長や先生方が一台ずつ携帯し、清掃状況を見回ります。その際に掃除の仕方がよい児童にインタビュー。その声を放送室に飛ばし、担当の教諭がそれにコメントをつけて全校に流します。取り上げられた児童はさらに頑張りますし、ほかの児童は『よし今度は自分がインタビューされるぞ!』と頑張ります。そんな教育効果も期待できます」

全国の学校関係者を震撼させた、大阪教育大学附属池田小学校の児童殺傷事件……。以来、学校の安全確保が改めて見直され、各校とも「最重要課題」として位置づけてさまざまな対策を講じているが、山形・鶴岡市立朝陽第一小学校(竹屋哲弘校長、児童数六百八十四人)では、無線機を利

用して指示すると、放送用アンテナが作動し全校に連絡できる「緊急通信放送システム」(山形ケンウツド)を二昨年七月に導入。教育活動にも活用し大きな成果を上げている。文部科学省がさきごろ発行した「学校安全管理に関する取組事例集」にも紹介された同校の実情をレポートする。

導入のきっかけはやはり、大阪教育大学附属池田小学校で発生した、児童殺傷事件だった。「あのような悲劇をどう防いだらよいか」。教員全員が神経質になっていたところ、鶴岡市教育委員会から「緊急通信放送システムがあるが」と連絡があったので、両手を上げて名乗り出て導入を決めました。学校教育の「土台」は何よりも『安全』ですから……(竹屋校長)